

学校教育目標	確かな学力と豊かな心を身につけた、健康でたくましい子どもの育成
育成を目指す資質・能力	確かな学力の定着と向上、認め合い、支え合う集団づくり、進んで体力向上に取り組む子どもの育成、小中一貫教育の推進、働き方改革の推進

	学力状況について	学習状況について
児童生徒の課題	各種学力調査の分析結果から明らかになった課題 国語:条件にあった「文を書く」、資料の読み取りと考えの違い 算数:「数の相対的な大きさの理解」、「文章題から答えを求める」 理科:「物質とエネルギー」特に電気のはたらき 読解力、文と資料・図をつなげた読み取りが共通している。	各種学力調査の分析結果から明らかになった課題 ・該当学年の基礎基本の指導内容の確実な定着が不十分。 ・自分の考えを積極的に発表する児童の割合が少ない。 ・家庭学習の習慣化と、保護者の協力や点検ができていない 家庭の固定化。
	これまでの学力向上の取組に対する児童生徒の状況(授業及び授業以外の側面から)	
	<ul style="list-style-type: none"> 授業の板書プレート(「めあて」「課題」「まとめ」「ふり返し」)を毎時間使用し、板書の構造化を図り、分かりやすい授業作りに努めた教職員は100%(1学期教職員アンケート)で、授業が分かったと答えた児童が93%、黒板に書かれていることが分かりやすいと答えた児童が89%だった。 授業で話し合うことが楽しいと答えた児童が81%、授業中は進んで自分の考えを発表していると答えた児童は64%だった。 	
指導の状況	1 組織的な授業改善の取組状況	
	<ul style="list-style-type: none"> 伝え合いによる思いやりと向上心のある児童・生徒の育成を目指した授業(小中一貫教育 植田南中校区 共通)で、思考を促す発問提示やねらいに迫る課題の工夫、多面的・多角的な話し合いを行い、検証していく。 各種学力調査の分析結果から明らかになった課題を解決する取組を学年で決めて、2学期から実践し学期末に振り返り、3学期につなげる。 	
	2 その他の学力向上に向けた指導の取組状況	
	<ul style="list-style-type: none"> 学習規律の徹底(チャイム席、授業準備、忘れ物をしない等)は、学習ガイドを教室に掲示し、学期末に振り返り、次につなげる。 個に応じた指導体制の工夫(TT、習熟度別学習、個別指導等)、ローテーション授業、学年間での教材研究を行っている。 家庭学習の習慣化については、学級懇談等で家庭学習の重要性を伝え、89%の保護者(1学期末保護者アンケート)が声をかけている。 	

学力に関する達成指標

- 単元末テストの平均点を85点以上にする。(中間は80点以上)
- 全国学力状況調査、大分県学力状況調査において、校内平均正答率が目標値を超える。

	【授業改善】	【家庭・地域との協働】
今後の具体的な取組	<p>〈授業改善のテーマ・重点〉</p> <p>〈授業改善テーマ〉 伝え合いによる思いやりと向上心のある児童を育成を目指した授業 〈授業改善の重点〉○思考を促す発問提示 ○ねらいに迫る課題の工夫 ○多面的・多角的な話し合い 各学年の取組 ○書く力 ○読解力 ○学習したことと生活をつなげる力</p>	
	<p>〈取組内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> めあて・課題・まとめ・ふり返りのプレートを毎時間使用し、板書の構造化を図り、分かりやすい授業に努める。 生徒指導の3機能を意識し、進んで自分の考えを言える児童の育成に努める。 ICTを活用し、主体的な学びのある授業を行う。 各種学力調査の分析結果から明らかになった課題を解決する取組を学年で決める。 	<p>〈家庭・地域の取組内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭学習の重要性・習慣化を、学級懇談、通信などで伝えていく。 家庭学習を提出できていない保護者に個別に連絡し協力を仰ぐ。
	<p>〈取組指標〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒指導の3機能を意識した授業を行い、「授業が楽しい」と感じる児童を80%以上にする。 タブレットを効果的に活用し、主体的な学びのある授業を行うことにより、「自分の考えをもてた」児童を80%以上にする。 各種学力調査の分析結果から明らかになった課題を解決する取組を100%実践する。 	<p>〈家庭・地域の取組指標〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 「学習ガイド」をもとに、児童に家庭学習をするよう毎日声をかける。 家庭学習の内容を工夫して習慣化を図り、提出率を100%にする。
	<p>〈検証指標〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 「授業が分かった」と感じる児童の割合を90%以上にする。 授業中、黒板に書かれていることが分かりやすいと答える児童を90%にする。 授業中は進んで自分の自分の考えを発表していると答える児童を70%以上にする。 授業で話し合うことは楽しいと答える児童を80%以上にする。 	<p>〈家庭・地域の検証指標〉</p> <p>家庭:子どもに宿題をするよう毎日声をかけていると答える保護者を100%にする。</p>
		<p>【授業改善以外の学力向上の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○植田南中校区共通の「生活ガイド」・「学習ガイド」を活用し、学習規律を徹底し、指導に生かす。 ○植田南中校区共通の「思考を促す発問や課題」に対するシートに、授業の発問・課題、児童の反応を振り返り、授業改善を図る。 ○読書指導で、児童の読書活動を充実させ、各学年で設定した目標冊数を達成させる。